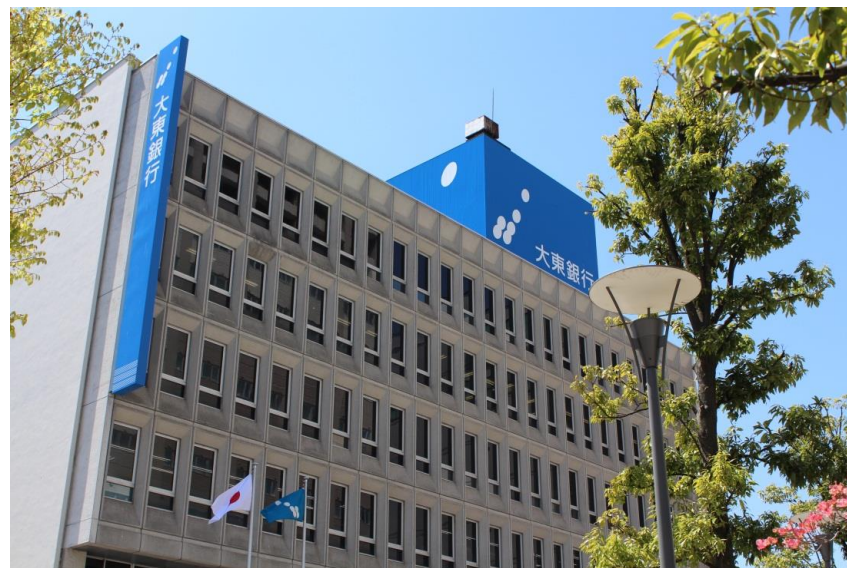


2022年3月期決算説明資料

- 大東銀行の経営状況について -

目次

I	業績動向	2
	1. 2022/3期の業績	3
	2. 貸出金の推移（単体）	4
	3. 総預金+預り資産残高の推移（単体）	5
	4. 自己資本の状況（連結）	6
II	第五次中期経営計画の取組みについて	7
	1. 経営理念及び第五次中期経営計画	8
	2. 目指す経営指標	9
	3. 法人分野の取組み	10
	4. 個人分野の取組み	13
	5. 経営基盤強化に向けた取組み	16
III	サステナビリティ経営の推進	17
	1. 大東銀行グループサステナビリティ方針	18
	2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例	19



名 称	株式会社 大東銀行
本 店	福島県郡山市中町19番1号
設 立	1942年8月18日



I. 業績動向

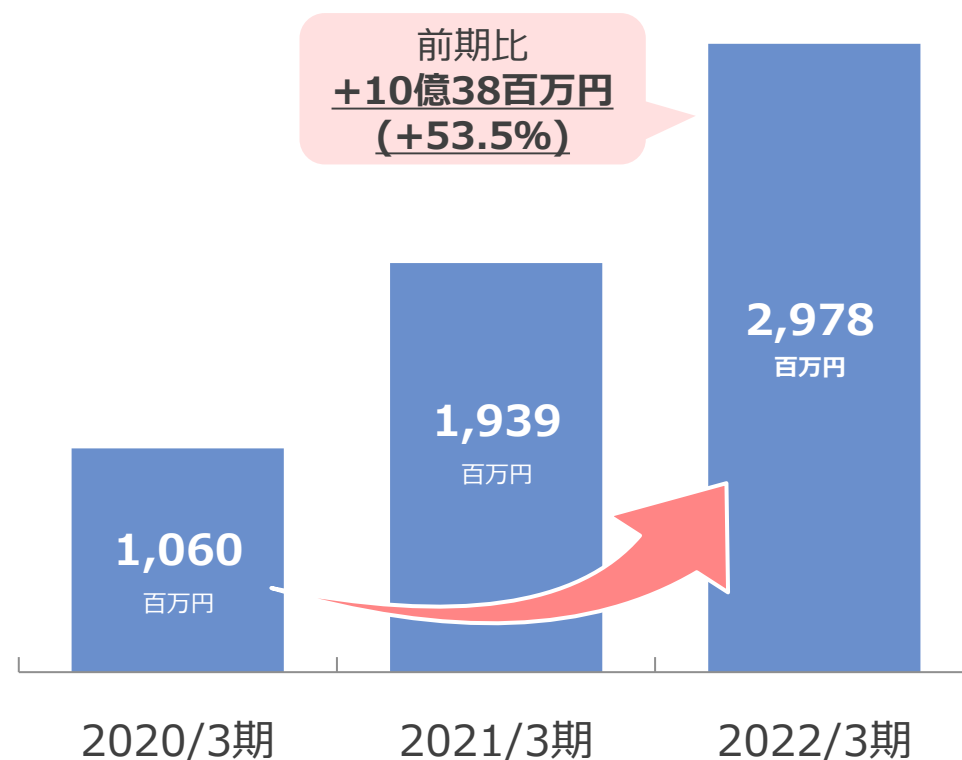
1. 2022/3期の業績

貸出金利息や役務収益などの増加により、有価証券売却益を控除した経常収益は、7億96百万円増加しました。当期純利益は11億53百万円となり、11期連続で黒字となりました。本業収益であるコア業務純益（除く投資信託解約損益）は前期比大幅に増加しました。

業績サマリー（単体）

(百万円)	2021/3期	2022/3期	増減
経常収益	11,996	11,735	△260
※有価証券売却益控除後	10,812	11,608	796
資金利益 (除く投資信託解約損益)	7,546	8,133	587
役務取引等利益	1,926	1,970	43
経費（除く臨時処理分）	7,575	7,140	△435
当期純利益	946	1,153	207
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	1,939	2,978	1,038
与信関連費用	612	57	△554
総資金利鞘	0.09%	0.12%	0.03%

コア業務純益（除く投資信託解約損益）の推移

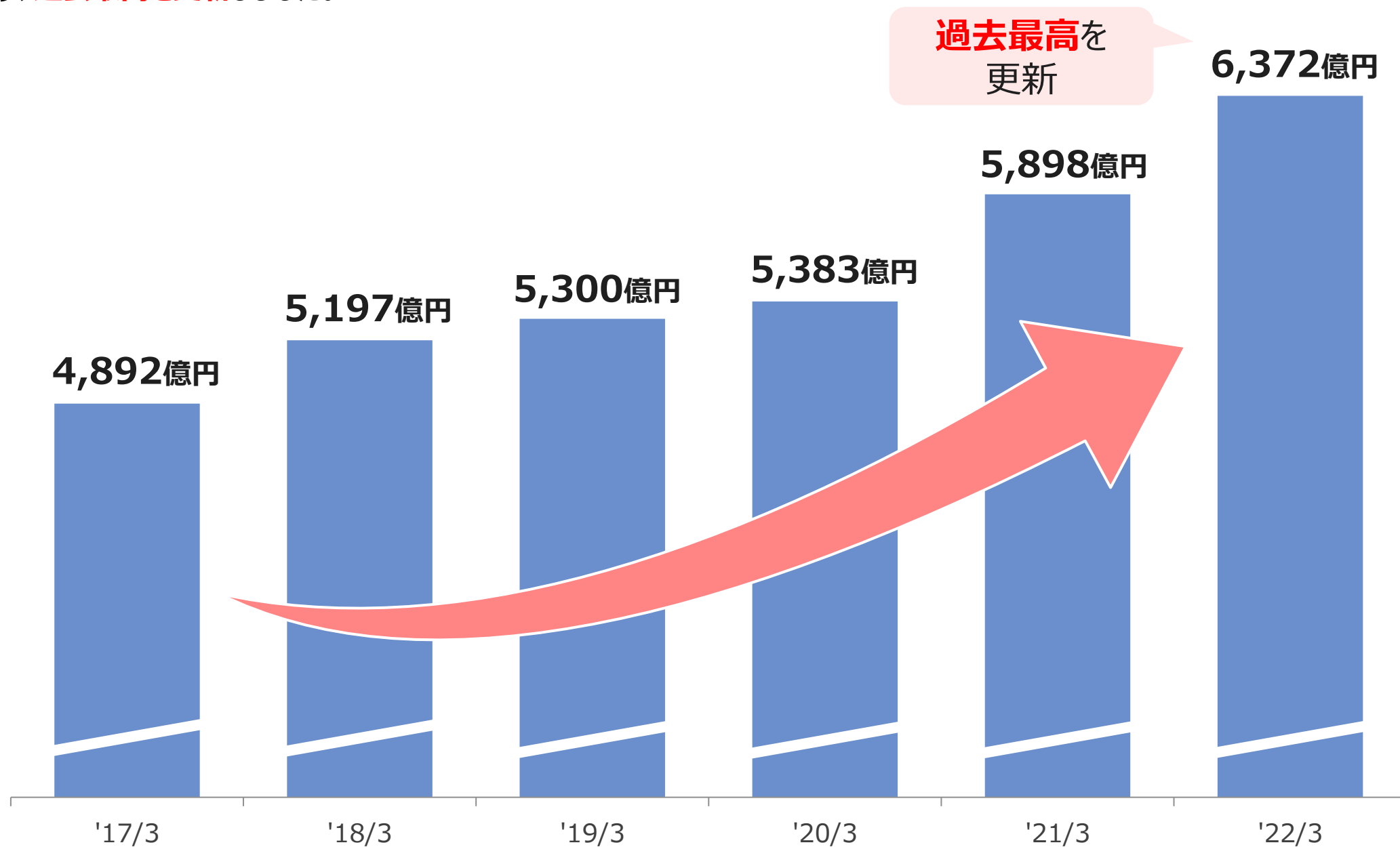


※ コア業務純益(除く投資信託解約損益)

貸出業務や役務サービスなど金融機関の本来の収益力をあらわす。本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から、国債の売買損益、投資信託解約損益など、一時的な変動要因を除いたもの。

2. 貸出金の推移（単体）

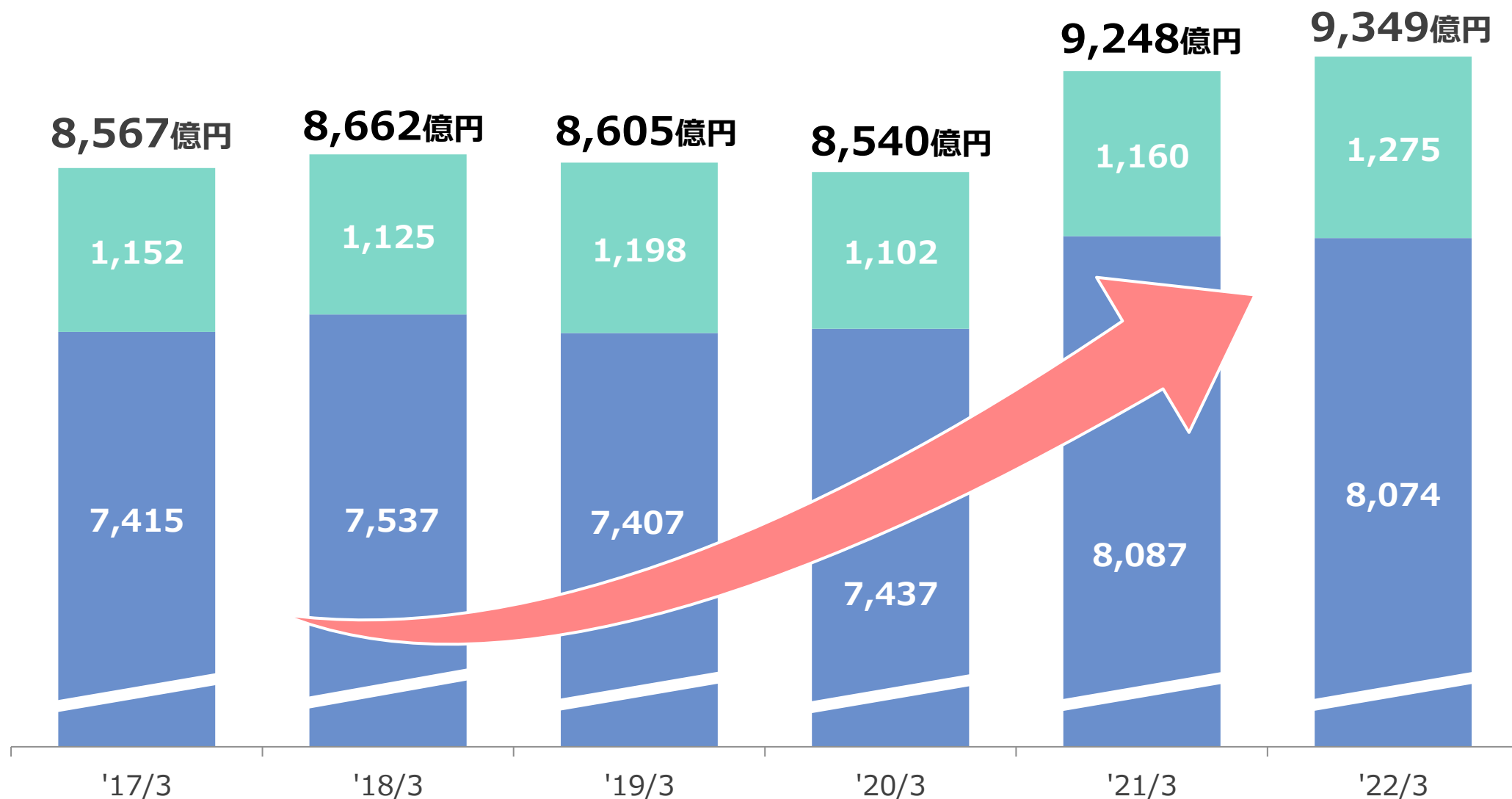
2022/3末の貸出金残高は、主に住宅ローンが増加したことなどから、2021/3末に比べ473億円増加して6,372億円となり、**過去最高を更新**しました。



3. 総預金＋預り資産残高の推移（単体）

2022/3末の総預金と預り資産残高の合計は、預り資産の増加を主因に2021年3月末に比べ101億円増加して9,349億円となりました。3月末の残高としては、過去最高を更新しました。

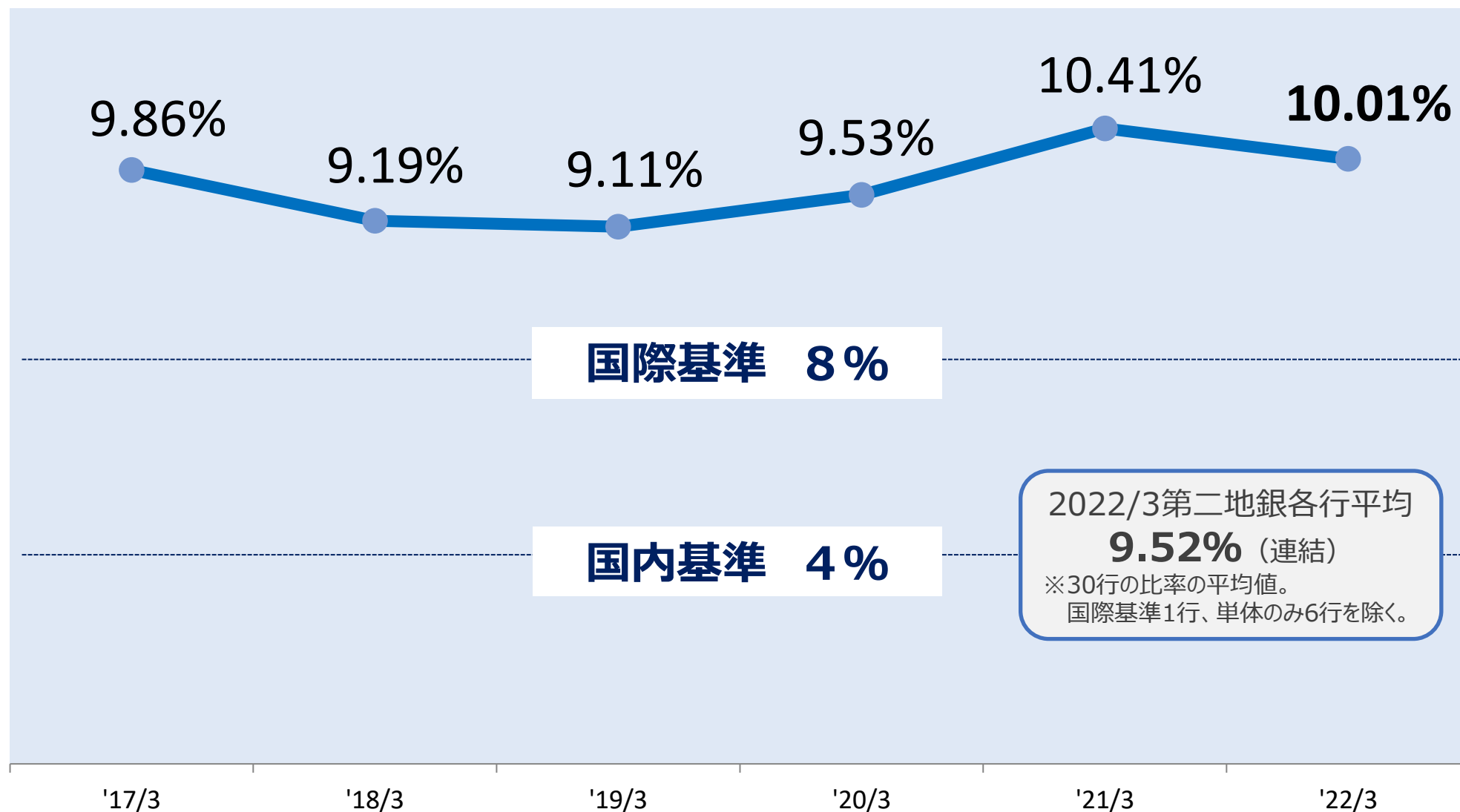
■ 総預金（末残） ■ 預り資産（投資信託＋公共債＋個人保険）



4. 自己資本の状況（連結）

2022/3末の連結自己資本比率は10.01%で、国内基準の4%、国際基準の8%を上回っております。

● 連結自己資本比率



Ⅱ. 第五次中期経営計画の取組みについて

1. 経営理念及び第五次中期経営計画

経営理念の実現に向け第五次中期経営計画（2020年4月～2023年3月）を策定し、お客さまが抱える課題解決に向けた支援を行っております。また、こうした取組みを支える人材育成にも力を入れて取り組んでおります。

経営理念

共創力と提案力で地域の豊かな未来を実現する

経営方針

法人分野

- 経営コンサルティング支援
- 創業支援、事業承継、事業再生支援等

個人分野

- 資産形成サポート
- 高齢者ニーズへの対応

人材育成 人材活躍促進

- 人材競争力の強化
- 能力に応じた適材適所の人材配置

2. 目指す経営指標

第五次中期経営計画で掲げました経営指標につきましては、昨年、上方修正した計画値を上回ることができたことから、最終年度となります今年度は、計画値を更に上方修正しております。

当期純利益

每期

7億円



每期

10億円



12億円

コア業務純益 (除く投資信託解約損益)

最終年度

15億円



最終年度

20億円



最終年度

28億円

預り資産残高

(投資信託と個人保険の合計)

最終年度

50億円増加



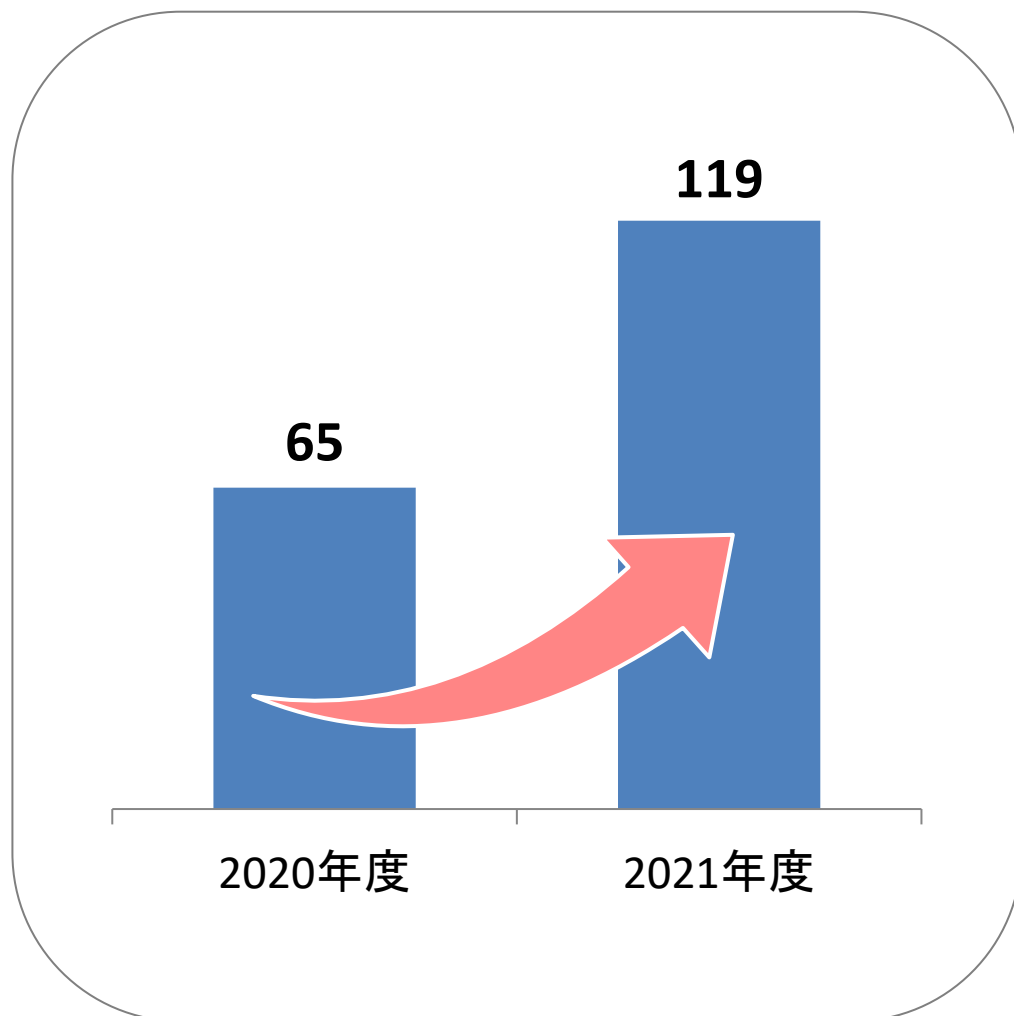
最終年度

100億円
増加

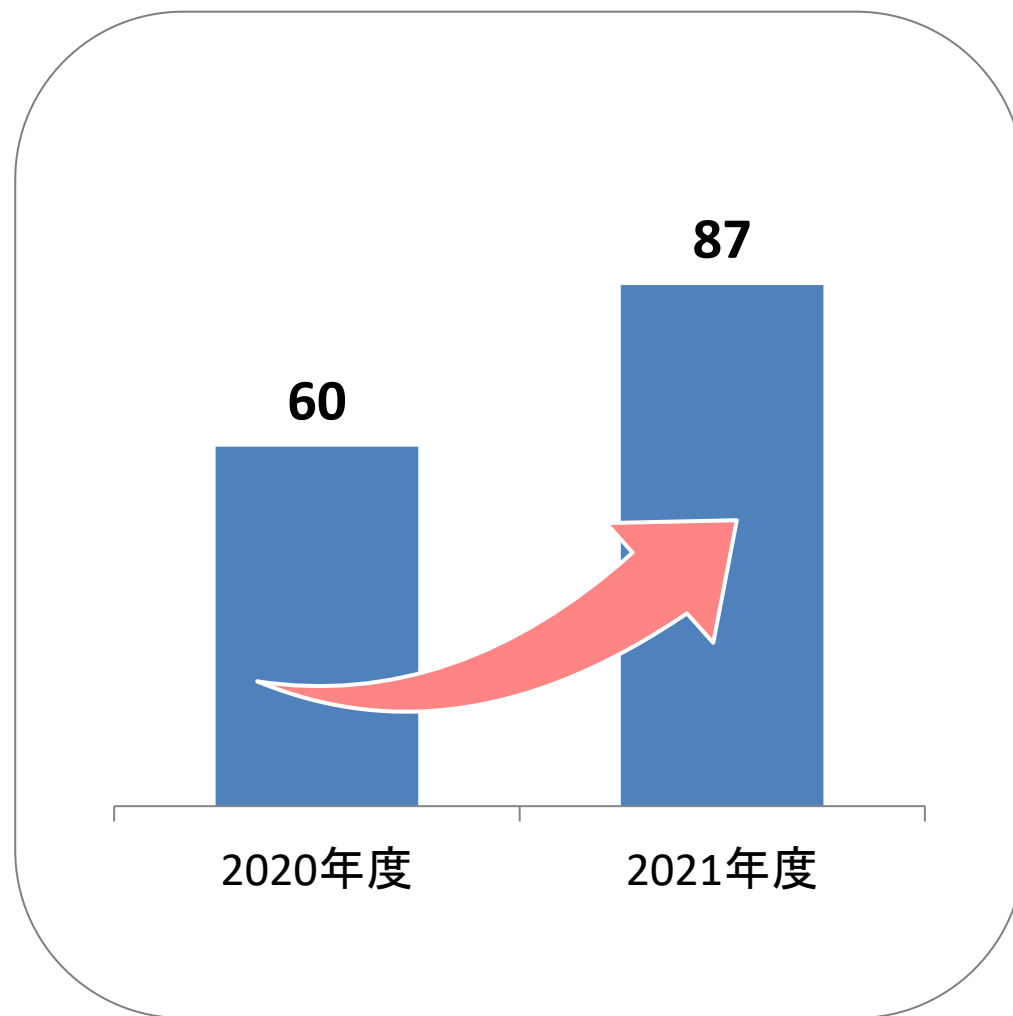
3. 法人分野の取組み

コロナ禍により経営環境が大きく変化している中、当行では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるお客さまへの資金繰り支援などに全力で取り組んでまいりました。この結果、事業承継やM&A支援先数は、いずれも前年度を上回る実績となっております。

事業承継支援先数



M&A支援先数



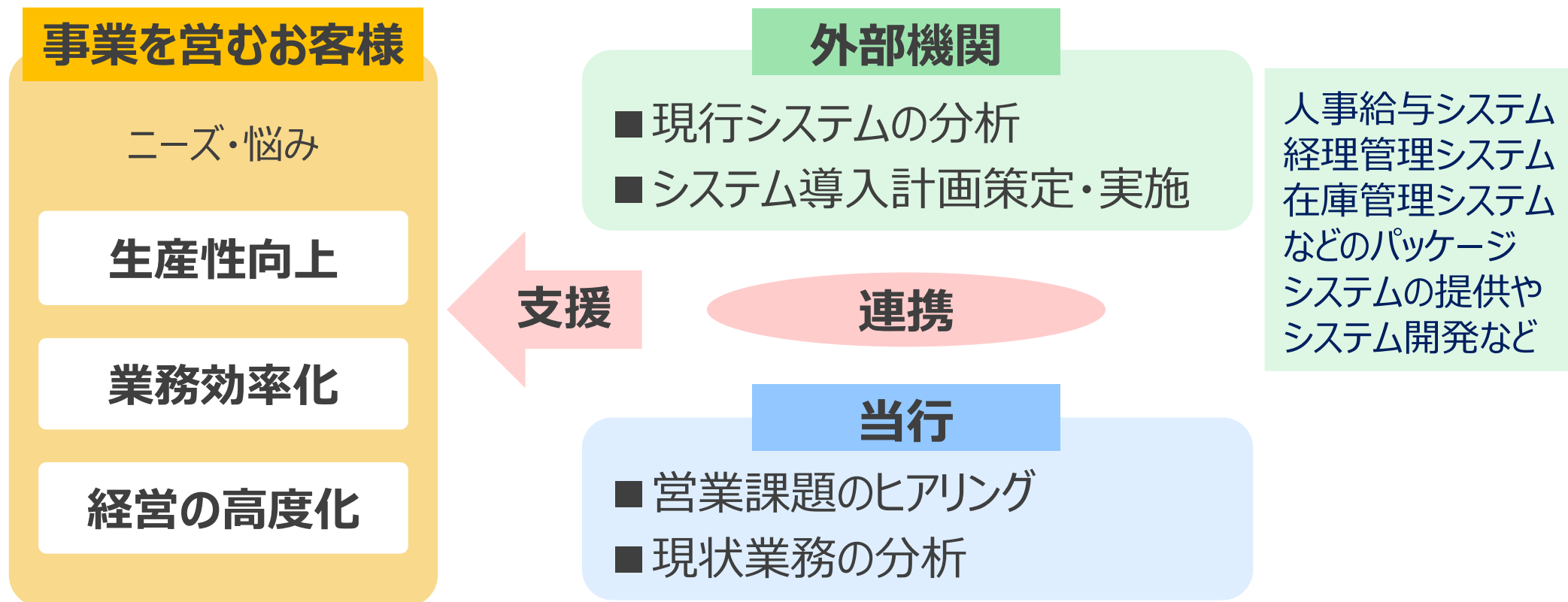
3. 法人分野の取組み

ICTコンサルティング

事業を営む皆さまが抱える悩みや、ニーズにお応えするため、提携先の外部機関と連携し積極的な支援を行っております。

〈実績〉2021年6月～2022年3月

相談件数	180件
成約件数	14件



3. 法人分野の取組み

リース業務

- リースに係るニーズ発掘から提案及び契約取次に至るまで銀行で対応することで、お客様の設備投資ニーズに対して、融資・リースの最適な組み合わせの提案をワンストップで実現しています。
- リース子会社の取扱高増加によりグループ収益の向上を図ります。

〈実績〉

前年比約2倍

	契約件数	契約金額
2020年度	274件	991百万円
2021年度	449件	2,191百万円

【取組事例】歯科クリニック

患者さんが
増えたとし、
もっと広い所に
移りたいなあ



移転



- ✓移転に係る設備資金のご融資
- ✓歯科用チェアユニット、吸引装置、クリーナなどの医療器具一式の申込み

4. 個人分野の取組み

資産形成サポートの取組み状況

金融市場の変化に合わせた適切な提案に努めております。

(億円)	2020/3末	2021/3末	2022/3末
総預金 (未残)	7,437	8,087	8,074
個人預金	5,294	5,540	5,562
法人預金	1,487	1,904	1,881
公金・金融機関	655	642	630
預り資産残高	1,102	1,160	1,275
投資信託	341	476	571
個人保険	704	630	652
公共債	56	53	50
総預金 + 預り資産残高	8,540	9,248	9,349

年度末基準で
過去最高

4. 個人分野の取組み

高齢者ニーズへの対応

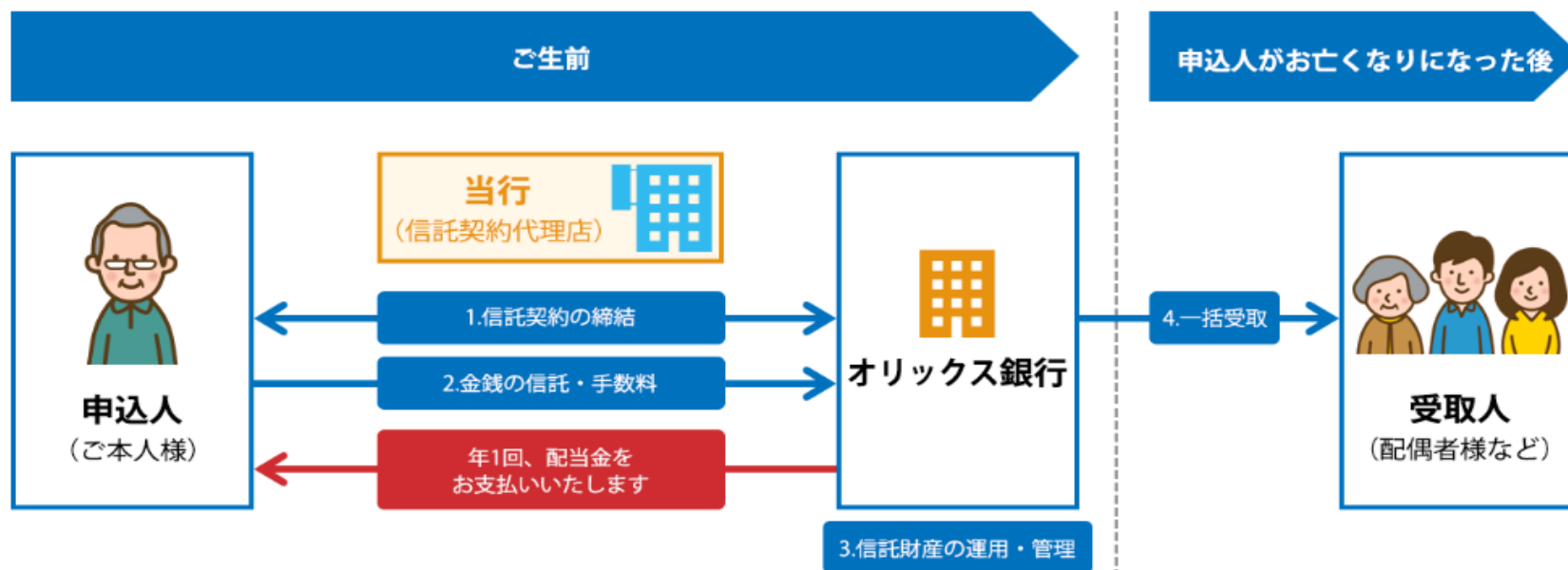
- 高齢化社会の進展に伴う世代間の資産承継ニーズに対応する為、2021年1月からオリックス銀行の提供する遺言代用信託「つなぐ、エール」の取り扱いを開始。
- 遺産の一部を社会貢献として地元に寄附したいというお客さまのニーズに対応するため、2021年6月に遺贈寄附特約付商品も追加しました。

〈実績〉2021年1月～2022年3月

申込件数

510件

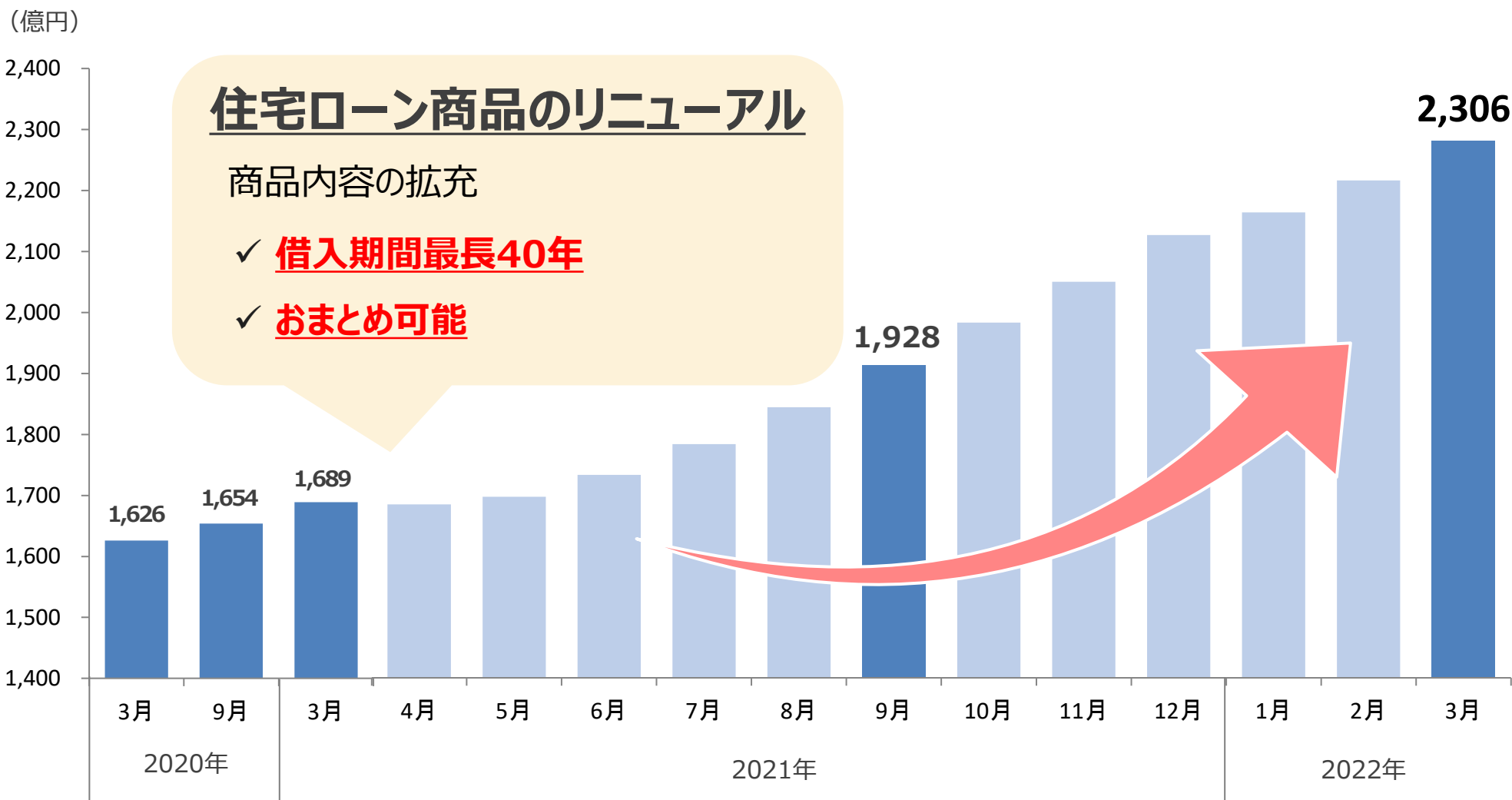
〈イメージ図〉



4. 個人分野の取組み

住宅取得支援

幅広いニーズにお応えできるよう、2021年4月以降、住宅ローンの商品内容を拡充いたしました。その結果、住宅ローン残高は、大幅に増加傾向となっております。

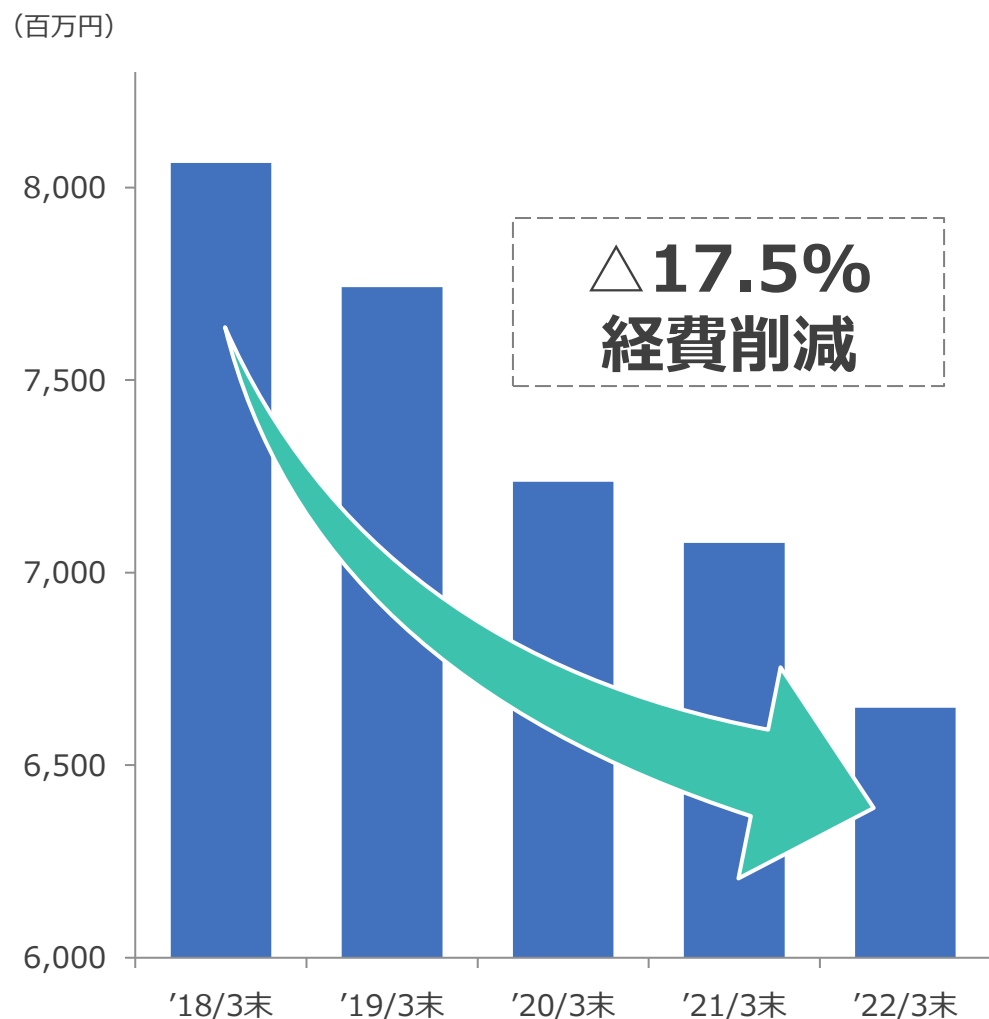


5. 経営基盤強化に向けた取組み

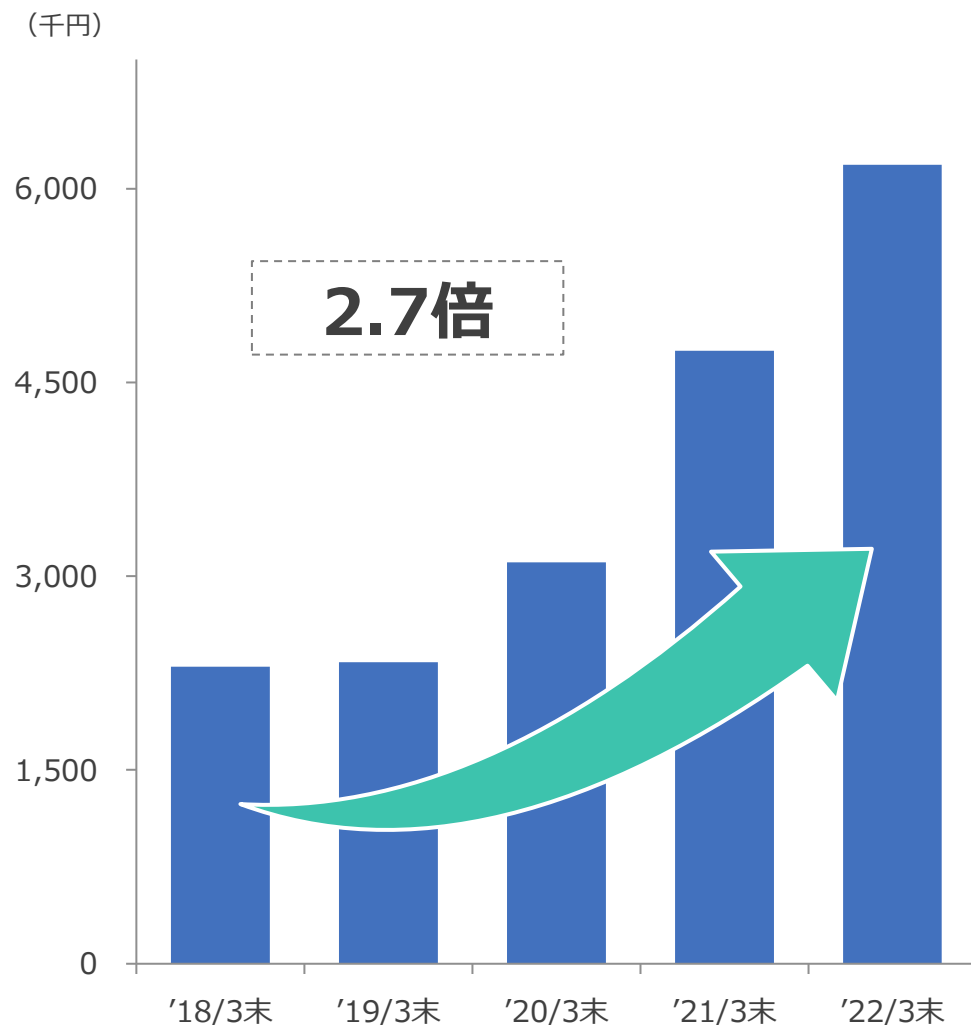
経営基盤強化に向け、業務の本部集中化や帳票等の整理・統合など、業務改革を継続的に行っております。こうした取組みを徹底した結果、生産性は大きく向上し、職員1人当たりのコア業務純益は5年前に比べ、約2.7倍になっております。

経費の推移 (単体)

※税金除く



職員1人当たりコア業務純益(単体)



Ⅲ. サステナビリティ経営の推進

1. 大東銀行グループサステナビリティ方針

大東銀行グループではサステナビリティ方針を定めております。地域社会の課題解決に資する取組みをより一層推進し、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

サステナビリティ方針

大東銀行グループは、経営理念に基づく企業活動や気候変動等の環境問題など地域社会を取り巻くさまざまな課題解決に向けた活動に取り組み、地域の発展と企業価値向上の両立を目指す持続的経営に努めてまいります。

ESG取組方針

環境 (Environment)

社会貢献 (Social)

ガバナンス (Governance)

SDGs取組方針

大東銀行グループは、経営理念に基づく企業活動を通じて、ESGに関する社会的課題の解決のほか、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、地域とともに持続的な成長を目指してまいります。

2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例

地域経済・社会貢献活動



再生可能エネルギーの普及

■ 再生可能エネルギー関連融資

〈実績〉

	残高
2022年3月末	24,712百万円

福島県いわき市に 国内最大級の バイオマス発電所が稼動



(出所) エイブルエナジー合同会社HPより

2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例

地域経済・社会貢献活動



献血応援プロジェクト

日本赤十字社と連携し、定期的な献血の実施、呼びかけ等を行っております。



郡山シティマラソン大会への協賛

第1回大会から協賛しており、大会運営時も職員がボランティアスタッフとして全面的に協力しています。



※2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例

金融サービス



資産承継関連商品の提供

2021年6月、福島県内に本店を置く金融機関で初めて、遺贈寄付を目的とした遺言代用信託の取り扱いを開始しました。



地域連携

2021年9月、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により経営の安定に支障を来している福島県内の中小企業・小規模事業者、農林漁業者の経営支援に連携して取り組む目的で、福島県内の22金融機関で連携協定を締結しました。



2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例

ダイバーシティ



人材活躍に向けた取組み

■ 若手・女性活躍への取組み

入行5年一貫教育プログラムによる段階的研修やジョブローテーションを実施し、男女を問わず適正に見合ったキャリア形成に努めております。



■ 女性管理職の積極的登用

女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」を掲げ、将来的な女性役員、女性管理職を養成するとともに、積極的な登用を実施しております。

管理職に占める女性割合

2022年3月末：17.4%

(2016年 9.4%)

※管理職：支店長代理職以上の職にあるもの

2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例

ダイバーシティ



ワークライフバランス

■ 長時間労働の削減

原則、定時で各自のパソコンをシャットダウンする仕組みを導入し、適正な時間外の管理を行っております。

■ 各種休暇制度取得推進

年次有給休暇の他に各種特別休暇制度を設けております。
また、男性育児休暇や連続休暇の義務化、女性健康促進に係る休暇制度の創設など、休暇取得を推進しております。

■ 「健康経営宣言2021」の策定及び「健康経営優良法人2022」の認定

職員及び家族の健康保持・増進に取り組むため、「健康経営宣言」を定め、推進しております。

2022年3月には「健康経営優良法人2022」の認定を受けております。

2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例

環境保全



DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み

各種取組みで、業務プロセスの効率化及び高度化が図られています。

- 単純作業のロボット化
- WEB会議の活用
- 会議資料のペーパーレス化
- 社内稟議・報告書の完全電子化
- 印鑑レス取引の拡大
- 住宅ローンのWeb事前申込み
- 投信信託タブレット機能拡大

TCFD提言への賛同表明

2021年11月に制定した「大東銀行グループサステナビリティ方針」の重要課題の1つとして「持続可能な環境保全への貢献」に取り組んでおり、2022年3月にTCFD提言に賛同しました。気候変動・環境問題への対応を強化していくとともに、気候変動のリスク・機会に関する情報開示の充実に努めてまいります。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）は、2015年12月に金融安定理事会により設立。気候関連の財務情報の開示を推奨。

2. 「SDGs取組方針」重点テーマへの取組み事例

環境保全



猪苗代湖清掃活動

毎年、職員及び家族が参加し、猪苗代湖の複数の浜で清掃活動を実施しております。



※2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

学生服回収BOX設置によるリサイクル活動

2021年9月から「学生服回収BOX」をいわき地区店舗に設置しました。回収した学生服を取引先のリユースショップが査定し、査定額を子供支援基金等へ寄付するほか、回収した学生服もきれいにして再販売されます。

〈実績〉 2021年9月～2022年3月

回収された学生服	322点
基金に送るための査定された学生服	279点
子供未来応援基金への送付額	39,708円

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績等は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があることにご留意くださいますようお願いいたします。本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありませんので、予めご了承くださいませようお願いします。

本資料に関するお問い合わせ先
大東銀行 経営部
TEL : 024-925-3872 (ダイヤルイン)